



Okamura LIFE

free paper



HouseではなくHomeをつくる

Okamura LIFE 2022 vol.9, 2022.4.1発行 発行元：株式会社オカムラホーム 〒276-0029 千葉県八千代市村上南 2-16-25 TEL 047-407-9705



オカムラホーム 公認キャラクター

おかぼむ

新生活の始まりだあ〜♪



本社移転のお知らせ

令和4年4月1日より本社を移転することとなりました。
新本社住所 〒276-0029 千葉県八千代市村上南 2-16-25
詳しくはホームページ等をご覧ください。

オカムラホーム公式SNS & アプリ

facebook



Instagram



twitter



LINE



オカムラホーム「友の会」公式アプリ



<https://www.okamura-home.co.jp/>



その後、どのように暮らしていますか？

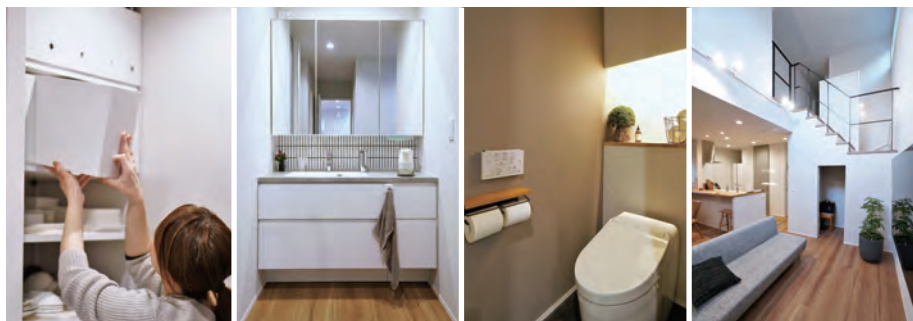
習志野市 I様邸



マットブラック×ベージュのツートンカラーの外壁がスタイリッシュな大人の印象を与える、習志野市のI様邸にお邪魔しました。

I様はご主人、奥様、3人の娘様の5人家族。ご自宅を建てる前はマンションにお住まいでしたが、娘様たちからの「1人ひとりに自分の部屋が欲しい」との願いを叶えるため、注文住宅を建てる事を決意。最初に始めたことは、まだ中学校に通われている娘さんの事を想い、住み慣れた場所での生活環境を変えなくてよい土地の購入でした。その後、大手住宅メーカーはじめ様々な工務店を検討されていたところ、たまたまオカムラホームの看板を発見。「家族みんなバスケットが好きなので、千葉ジェッツふなばしのスポンサーであるオカムラホームの名前は知っていたんです。軽い気持ちで八千代の店舗に立ち寄ったんですよ。」とオカムラホームとの出会いを語ってくれました。

I様を担当させていただいた営業も運命的な出会いだったと当時を振り返り、思い出ばなしに会話が弾みました。お二人は、とにかく寒がりなので暖かい家を建てたいと強く希望されていました。そこでI様が選ばれたのがスーパーウォール工法での家づくり。暖かい住まいにするために大切なのが断熱性能（「暑さ・寒さ」など外気温の伝わりを防ぐ）と気密性能（隙間をなくして、空気の出入りを少なくする）です。スーパーウォール工法の家の温熱環境は、建物全体を高気密断熱材で包み込んで、気密性の高い、魔法瓶のような空間を生み出します。在来工法である発砲ウレタン断熱材は建設現場で吹き付けて発泡させるため、環境に左右されやすく、安定した断熱効果がのぞめない場合があります。しかし、スーパーウォールパネルは工場生産された硬質ウレタンフォームのため、環境に左右されず、一定の品質を保つことができます。建設現場では高い技術を持った職人が隙間なく丁寧な施工を行い、さらに材質は湿気を通しにくいため、住まいの耐久性も持続させる事ができるのです。「戸建ては寒いというイメージ



があったが、スーパーウォール工法を知り、これだったかと思いました。新しい家で初めて迎えた冬もリビングとランドリールームのエアコン2台で、2階の廊下まで暖かく快適に過ごせています」と奥様は住み心地に満足されていたのは、生活の利便性に大きく関わる「住宅設備」。「動線を重視し、コンセントやスイッチの数や配置を計画的に考えました。また、無駄なスペースを作らずに収納として有効活用しました」と機能面を追求されました。

一方で奥様は、とにかくおしゃれに暮らしたいとデザイン性を重視。キッチンにあるパントリーの引き戸や、トイレや洗面室のドアはハイドアタイプを採用し、壁面と一体感のある美しい空間が生まれました。パントリーの棚には、真っ白なボックスがきっちり並び、美しいシンデレラフィット収納で生活感を感じさせません。また、トイレの造作棚やアクセントクロス、洗面化粧台のタイルなど奥様のセンスが随所に光っています。家具や家電はシンプルでデザインで統一されており、ダイニングテーブルは細くて長いシャープなものを特注でオーダーされました。1日の終わりに、ご夫婦がこのダイニングテーブルからテレビを見ながらお酒を交わし、ゆっくりと流れる至福の時間を過ごすのが、楽しみのひとつとなっています。

「家づくりを振り返ってみて、大切な事は自分が思っている理想を設計士さんに伝える事だと思いました。価値観は人それぞれ違うので、相性があるとは思いますが、お互いに共感できれば、それを形にしてくれるはずです。せっかく注文住宅を建てるのだから、遠慮しないでやりたい事を伝えて、じっくり話し合ってください」とこれからお家を建てようとして検討されている方へ、アドバイスをご主人からいただきました。





その後、どのように暮らしていますか？

習志野市 T様



リノベーションをされてから3年が経った、習志野市のT様邸にお邪魔しました。
以前はお母様の介護のため、リノベーションされたご実家近くのマンションにお住まいだったT様。
お母様が亡くなり、空き家にしてしまうのは心苦しく、ご自身が住むことを決心されました。
ご実家はご両親を想い、T様が設計デザインに関わり、こだわって建てたお家でしたが29年の月日が経ち、ライフスタイルに合った住み良い空間にするためにヴィンテージ木こちでリノベーションさせていただきました。
ショールームに来ていただいた際に担当した設計士の人柄に惹かれ、出会いにご縁を感じたと話されたT様。
この出会いがヴィンテージ木こちでのリノベーションを決意する決め手となったそうです。
T様がご希望されたのは「自然素材をふんだんに使った、開放的なお家」でした。
空間を仕切っていた壁や建具を取り除く事で、ひとつながりで暮らしやすい空間になり、構造上どうしても抜けなかった2本の柱は、1本は木格子と合わせてデザイン性のある目隠しフェンスに、もう1本はダイニングテーブルをくっつけ、椅子に座ると、ほっと一息つける背もたれに。T様にとってお部屋の景観の一部として、なくてはならない存在になっています。

床にはふんだんに無垢材を使用し、木の温かみを感じられます。また、キッチンのは造作のカウンターを設置し、見せたくないものを収納して隠せるように工夫されています。天板はT様が選ばれた、クラシカルな模様のタイル仕上げとなっており、おしゃれなT様のセンスを感じました。

1階に生活に必要な全ての空間をまとめることができたので、2階建ての住まいは、まるで平屋に暮らしているよう。利便性が高く、開放感を味わえます。

リノベーションをする前は寒さが気になっていたそうですが、既存の窓の内側にもうひとつサッシを取り付け、二重サッシにした事で断熱性が高まり、外気温が室温に与える影響が小さくなりました。「冬でも暖かく快適に過ごしています。暖かくなっただけではなく、外からの騒音も軽減され、逆に室内からの音漏れも気にならなくなり快適です」とT様。何より住みやすさにご満足の様子でした。

最後に、これからお家のリノベーションを考えている方に向けてアドバイスをと伺うとT様から「家に住む人の気持ちが一番大切なのだから、とにかく自分の思いのたけを設計担当者さんに伝える事が一番大事だと思います。その中で信頼関係が築いてくれたのだと感じました」と嬉しいお言葉をいただきました。

ご両親の残してくださったお住まいを大切にしながら、住み継ぐお手伝いが出来た事に、心より感謝しております。





地域情報／頑張っているママをご紹介します

わらうこども

古田あゆみさん

1歳・6歳・11歳の3人のお子さんを育てるママさん。
理学療法士として働いていた経験を生かし、食育を通して子どもやお母さんが笑顔広がる活動をされています。



わらうこどもは、千葉県船橋市のわらうこどもハウスを拠点に、お子さまとご家族が食に関する体験を通して、心と身体が成長できるような、笑顔が広がる場所づくりをしたいと古田あゆみさんが立ち上げました。

古田さんは以前より理学療法士として、小児の発達相談や食事支援のお仕事をされていましたが、ご自身の子どもを育てる中で、より地域に密着したカタチで身近な場所で活動したいとの想いが芽生え、自宅で体験型教室「わらうこども」をオープン。自分自身で感じ体験して成長することをテーマに、実際に子どもが自分自身で感じて体験することを大きなテーマとして、お母さんの気持ちに寄り添いながら、様々な活動されています。

その活動の一つが「わらうこども菜園教室」

野菜の植え付けから収穫体験までをワンクールとした継続型のお教室です。畑での活動が主ではありますが、古田さんオリジナルのプリントを使って、お野菜の育ち方や収穫できる季節、栄養の事などを学んでから畑へ向かいます。雨の日はお料理を作ったり、染物をしたりと季節に合わせた制作を子ども達が楽しみながら取り組めるプログラムとなっています。

「毎月、畑に行くので土に触れ合い、楽しみながら、食物の成長の過程を知り、自分たちがそれをいただきたい事を感じて欲しいと思っています」と古田さん。

また、月に1回のペースで開催される「季節を感じるワークショップ」では味噌づくりや梅しごとなど、その季節に合わせたワークショップを企画されています。

「今は季節に関係なく、いろいろな事ができる時代ですが、その背景を知り少し意識を変えることで食物へのありがたみを感じられたら、それをいただいている自分自身が尊い存在になっていくのではないかと。自分を大事に、そして他人への大事に伝わりていくと思っています」と食を通してお子様の成長を願う様子が伝わりました。

キッズ食育トレーナーの資格を持つ、古田さんは継続型の食育スクール「青空キッチン」も開講。「青空キッチン」は料理を日常の一コマと捉え、楽しみながらも、生きていくうえで必要不可欠である食育を自然に学ぶことができるスクールで、3歳から6年生までのお子様調理することはもちろん、食や栄養について学び、材料を計算する、ワークをするなど食全体を学べるプログラムとなっています。お料理が好きなお子さんから、好き嫌い克服したい、食べ物自体が苦手な子まで、少しくなりつつありますが「青空キッチン」に通われている理由は様々ですが、少しでも成長できる場面設定をしたいと考えられているそうです。中には手先の動きが苦手な子もいますが、力を入れやすい工夫したり、手先の運動を取り入れたり、何か少しでも普段の生活の中で、お子さんと接するお母さんのヒントになれば、お母さんにも寄り添えたらと心がけていられます。

「楽しみながら、出来なかったことができるようになる経験をつくってあげたい。その経験が自信になり、次も挑戦してみようにつなげて、そんなお子さんの成長する姿を見て、子育ては大変だけれど楽しいとお母さんが感じられる、きっかけづくりの場所でありたい」と古田さん。ご自身も子育て中のお母さんだからこそ、お母さん達の不安な気持ちに優しく寄り添えるのだとお話を伺い感じました。

古田さんは東京の下町で育ち、小さな頃から近所のおじちゃんやおばちゃんや親戚のように、見守ってくれる環境で育ちました。その暖かな経験が自分のベースになっていると話すと古田さん。「わらうこども」の活動が少しでも波及して、地域全体で子どもを守って支えて欲しいと願っています。子どもたちの笑顔がきつと地域の元気につながっていくと思うんです」と子どもたちの幸せな未来を見つめる、柔らかな表情が印象に残りました。



わらうこども

〒274-0813 千葉県船橋市南三咲3-4-31

HP

<https://waraukodom.amebaownd.com/>

ブログ

<https://waraukodom.amebaownd.com/pages/2532184/blog>



HP



ブログ



一般社団法人 MIRAI KOMINIK A for school
 第一期生『未来(あす)へつなぐSAKURAスイーツ』寄付式・修了式



まん延防止重点措置が発出される中、MIRAI KOMINIK A for School 第一期生の寄付式・修了式が開催されました。本来であれば、佐倉市の学生と、新渡戸文化高等学校の学生が一同に集まり、盛大な式を開催したかったのですが、学生の安全を第一に考え、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、3月11日(金)に新渡戸文化高等学校の学生が、3月14日(月)に佐倉市役所にて佐倉高等学校、佐倉東高等学校の学生が寄付式・修了式に臨みました。

昨年、5月より「人の動ききつかけづくりとして、身近にある「食」にスポットをあてたい」という第一期生の発案からSDGsの達成目標や佐倉市の地域課題を解決する内容を盛り込んだSDGsオリジナルスイーツを『未来(あす)へつなぐSAKURAスイーツ』というスローガンを掲げて、開発を進めてまいりました。

10月、11月には第一期生自ら販売活動にも参加し、今プロジェクトで得られた収益金を今回、第一期生が選んだ寄付先に自分たちの手で直接、寄付をさせていただきました。

寄付先は、子ども食堂を運営する、さくらあつたか食堂ネットワーク様、佐倉市観光協会様、千葉県動物保護管理協会様、また、佐倉市の7つの公立保育園に図書カードを、佐倉東高等学校となり開設された、大手門跡広場にベンチを寄贈させていただきました。

寄付先の代表者様、佐倉市 西田三十五市長にもご参列いただき、自分たちの想いを自分たちの手で届ける事ができ、第一期生は満足そうな表情を浮かべていました。

寄付式の後は金子代表理事より第一期の収支報告と総括のお話があり、いよいよ修了証書授与がはじまりました。コロナ渦の中で、なかなか思うようにコミュニケーションが取れなかったりと、学業や部活動との両立が大変だったりと、本当に沢山の苦労があったと思いますが、「気づき、考え、行動する」を合言葉に最後までやり抜いた第一期生を誇りに思っています。様々な事を経験し、成長した第一期生の姿に先生方も感動されている様子でした。

式の最後には第一期生の学生代表より挨拶があり、プロジェクトを通しての感想や関係者へのお礼をお話いただきました。自分たちの想いを自分の言葉で、行動で伝えてきた第一期生の活動は修了式を持ちまして完結となりますが、自分たちが本気で行動すれば、本気で答えてくれる大人が必ず周りにいるはず。これからも自分を信じ、様々な場所で輝いてください。第一期生の想いは、第二期生が引き継いでいきます。

第一期生の皆さん、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。



オカムラホームは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています





こんにちは。日本に戻って一年半。いやあ日本はいいですね。勝手のわからないベトナムで買い物ひとつ苦労してきた生活環境が一変。どこいってもきれいだし何でも普通に行けるし。何よりも言葉が通じるのってすごい。って思っちゃいます。私事ですが、昨年帰国してから自宅を建てました。もちろんオカムラホームで。小っちゃな平屋ですが担当してくれた同僚社員を始め、携わってくださった皆さんのご尽力でもとても快適な生活をさせていただいております。

今回は、その家で使用したフローリングなどの建材、無垢材のお話を。オカムラホームで使用しているオリジナル建材はベトナムの工場で製造されています。フローリング材、カウンターや棚板、ドアなどラインナップは多岐にわたり、日本から発注が来ると、現地スタッフが発注のサポート、出来具合など品質のチェックを行い日本へ出荷します。私も在任中は、現地のスタッフと共に工場へ足を運び、製品の出来具合などのチェックをしておりましたので、その様子とともに製造の裏側を少しお見せしたいと思います。

工場はホーチミン市の郊外にあります。約130名の作業員

が従事していますが、日本で関連する仕事をしていた経験者が取りまともをしていることもあり、工場内も整然としていて作業員の挨拶や行動もとてもベトナムとは思えないクオリティ。在任中はリサーチのためにいくつもの工場も見学しましたが、ベトナムではまだまだ手作業が主体。日本から入れた機械を使っている製造工場も珍しいです。

さて、チェックですが、これがなかなか大変。設定した基準など図面を見ながら、サイズの計測、反りの具合など各製品を一枚ずつ、一つずつチェックしていきます。無垢材は木そのものをカットした製品なので、全てがオンリーワン。フローリング材などは色味や模様、節の入り方など個々に異なり、とても面白味のある建材です。これらは、欠けや削り具合などをチェックしていきますが、その質感や風合を楽しめるように。という想いで一枚ずつ見ていきます。

製品はその後梱包されて輸送コンテナで出荷されていきますが、その様子を見るたびに何だか感動していました。そんな自分の経験もあり、自宅の建設で納品されたフローリング材を見たときに、何だか我が子が来たようなとても嬉しかった事を思い出します。出来上がった家のフローリングもそうでした。生きている木なので、時間の経過と共に色味や風合など変化をしていくこの無垢材ですが、お家で使う方がこの記事を見て、より愛着を持っていたら、また、その質感や風合、その変化をより楽しんでいただけたらとても嬉しく思います。ではまた次号で。





友の会 協賛店 紹介コーナー



「あなたの『楽しい♪』が尊い命を紡いでいる」
チャリティ企画『カピリナ』のご案内

八千代中央駅より徒歩3分の所にあるハワイアンカフェ「Punalu'u (プナルウ)」は、隠れ家的なハワイアンカフェのお店。

D.I.Yの腕前がプロ級でシャイなご主人の人柄に引き寄せられ、いつも常連さんで賑わっています。

「Punalu'u (プナルウ)」はいつ誰が行っても迎え入れてくれ、お客さん同士がすぐに打ち解けられるようなそんな暖かいお店です。

そしていつも笑顔で包み込んでくれる奥様の野中清未さんは、

「Punalu'u (プナルウ)」のお隣の「ポリナヘフラスタジオ」でフラ

ダンス教室を開いています。
今回は、野中さんが代表として「八千代ハワイアン協会」を立ち上げるにあたり、お話を伺ってきました。

【八千代ハワイアン協会】とは、「ハワイアン」というツールで八千代市民の繋がりを図り、誰もが楽しめる世代ボーダーレスな空間作りを通して、福祉社会と協力し、地元八千代を大切に思う意識向上や地域活性化の一助を目指している非営利団体です。

その収益金の一部は、2004年から続くチャリティ企画【カピリナ】の活動理念と共に、CSRやSDGsの取り組みとして、WFP(国際連合食料計画)の活動に役立てられています。【Kapiina カピリナ】とは、ハワイ語で「人と人との繋がり」「絆」という意味があり、み

んなと楽しく過ごすその延長線には、遠くの誰かが笑顔になることを願っています。

野中さんのポリシーは「あなたの『楽しい♪』が尊い命を紡いでいる」こと、そして得意なことは、「何事も気長にコツコツと続けること」だと笑顔で話してくださいました。

次回チャリティ企画【カピリナ】の開催予定は、7月3日(日) 八千代市民会館大ホールです。

『ポリナヘフラスタジオ』へ通うチビッ子から男性ダンサーまで、皆さん本当に楽しそうに踊る姿はまさに「あなたの『楽しい♪』が尊い命を紡いでいる」言葉を超越し、世代や性別を超えたジェンダーレスで生涯楽しめるハワイアン。ALOHAの精神は日本文化にも深く通じるものがあります。

オカムラホームは【八千代ハワイアン協会】の活動を応援しています。



ALOHAのI文字ずつに込められた意味

A...「Akahai」(アカハイ=思いやり・親切)

L...「Lokahi」(ロカヒ=統一・一致)

O...「Oluolu」(オルオル=礼儀・賛成)

H...「Ha' aha' a」(ハアハア=謙遜・素直な心)

A...「Ahonui」(アホヌイ=忍耐)



～あなたの「楽しい♪」が尊い命を紡いでいる～
チャリティ企画【カピリナ】のご案内
やちよフラフェスタ

■開催日時■

7月3日(日) 13:00～17:00(開場:12:30)

■場所■

八千代市民会館 大ホール(八千代市萱田町728)

■料金■

入場無料(全席自由)

社長賞



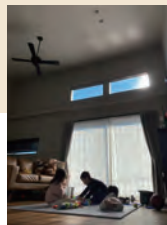
「お菓子みつけた！」



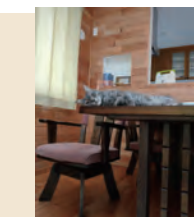
「二人は仲良し」



「手作りケーキ」



「SUN」



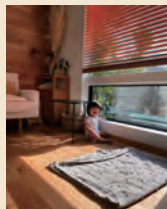
「おはようございます」



「キッチンも遊び場」

SDGs 賞

未来に羽ばたく
子ども達へ



「日が暖かいね」



「雨の日のうち遊び」

家族を迎えてくれる家は、いつもやさしいぬくもりで溢れています。

「ハウスではなくホームをつくる」

ご応募いただいた皆様の作品から伝わる、家族の温かさやお子様の笑顔に

私たちもほっこりさせていただきました。

これからもオカムラホームと共に素敵な時間を過ごして頂けたら幸いです。

今までにご応募いただいたお写真は

Instagram (@okamura_photocon) で紹介しております♪



次回の OKAMURA LIFE フォトコンテストは 7 月を予定しております。お楽しみに♪

OKAMURA LIFE PHOTO CONTEST

2021 winter
入賞作品発表

第 6 回 OKAMURA LIFE フォトコンテストに素敵なお写真を

ご応募いただきありがとうございました。

回を重ねる度に、お写真の腕を上げられているなど感じました。

ご応募いただいた 81 枚のお写真の中から、当社社員、プロカメラマンによる

厳正なる審査のもと、12 作品の入賞作品が決定いたしました！

オカムラホームの注文住宅・分譲住宅にお住まいのお客様、

オカムラホームでリノベーションやリフォームをされたお客様を対象に

素敵な“OKAMURA LIFE”を送られている様子をご応募いただきました。

WONDERFUL 賞 「レッツパーティー！」



GOOD 賞 「ベッドがトランポリン」



NICE 賞 「仲良く手洗い」



FINE 賞 「未来の きみの部屋で」



東葉高速鉄道「村上」駅・「東葉勝田台」駅 徒歩8分
八千代村上ジャスタウン 全14区画の大型分譲地



4号棟 3LDK
敷地面積：167.03㎡ (50.52坪)
建物面積：107.77㎡ (32.60坪)
土間収納・ウォークインクローゼット
ウッドデッキ・カースペース2台

高気密・高断熱住宅

見学予約
詳細▶



毎週 土・日 現地見学会・販売会開催!!

【物件概要】●所在地／八千代市村上南5-20-7付近●交通／東葉高速鉄道「村上」駅・「東葉勝田台」駅徒歩8分、京成本線「勝田台」駅徒歩10分●用途地域／第一種低層住居専用地域・第一種住居地域●道路幅員／4.5m-6m●総区画／14区画●販売棟数／5棟●地目／宅地●建ぺい率・容積率／60%・150%/60%・200%●権利形態／所有権●取引態様／売主●売主／（設計・施工・アフタサビス）株式会社オカムラホーム●販売価格／4,980万円（税込）～5,880万円（税込）●敷地面積／165.12㎡ (49.94坪)～256.81㎡ (77.68坪)●建築面積／98.95㎡ (29.93坪)～109.30㎡ (33.06坪)●間取り／2LDK～3LDK●建物構造／木造軸組2階建●設備／本下水・公営水道・東京電力●建築確認番号／HPA-21-07375-1他●建物完成／2022年1月（3.4号棟）2月（8号棟）3月（9・10号棟）●引渡／要相談 ※先着順受付につき万ご成約済の場合はご容赦ください。



注文住宅専門店

木ここち家ラボ

お問合せ 0120-210-341

その他物件満載！
見学予約受付中!!

販売中の物件はこちら▶



リフォーム部よりお知らせ
再生可能エネルギーって何？



最近、よくテレビやネットで見る再生可能エネルギーという言葉ですが、再生可能エネルギーとはなにか？どういったものがあるのか？皆さんはご存じでしょうか。

再生可能エネルギーは、繰り返し使え 環境にやさしいエネルギーです。資源に限りのある化石燃料とは異なり、一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇せず繰り返し利用できるエネルギーのことです。

地球温暖化の原因となるCO2を発電時に排出しないため、環境にやさしいエネルギー源で水力・風力・地熱・バイオマス・太陽光 と色々な種類のエネルギーがあります。オカムラホームでも、再生可能エネルギーを生み出す、太陽光発電システムの設置を推奨しております。太陽光発電システムや発電した電気を貯めておくことができる蓄電池は、毎月の電気料金が安くなることや停電時の電気が確保できる等、地球とお家に優しいことばかりです。昨年は、各地で未曾有の災害が発生したことやSDGsなど環境への取り組みが大きく報道されたことにより、住宅購入を機に太陽光発電システムを設置する方も増えており、暮らし・環境への意識が高まっていると感じています。

太陽光発電システム導入について、興味のある方、実際に体験してみたい方は、お気軽にオカムラホームのスタッフまでお問合せください。



オカムラホームのリフォーム お問合せ 0120-210-341



Okamura LIFE のあるお店

八千代市

- 男子ごはん 元気屋・絆
緑ヶ丘 2-2-10 秋葉緑ヶ丘ビル 1F/TEL.047-459-6110
- 新館
大和田新田 42-4/TEL.047-450-7750
- みどりや寝具店
大和田 1009-5 KIDA BLD 1F/TEL.047-482-3239
- Golista (ゴリスタ)
緑が丘 3-7-4 ピーグルハウス 101/TEL.047-411-8114
- スイーツアリスサム
高津 699-11/TEL.047-450-4720
- café-imoon
大和田新田 353-101 ナツミビル 2F/TEL.047-429-8681
- さわ田茶家
萱田町 595/TEL.047-486-3311
- Restaurant5I
ゆりのき台 1-14-2 ソレイユ 1F/TEL.047-407-0151
- そらまめ
ゆりのき台 2-3-2/TEL.047-486-0112
- Punalu'u (プナルウ)
ゆりのき台 4-8-1/TEL.047-752-0404
- ゆりのき台 菓子工房 ノエル
ゆりのき台 5-1-4 アルバ八千代 /TEL.047-481-7772
- きたみ coffee
ゆりのき台 7-22-4 サンハイツ花島 2-101/TEL.047-489-5946
- 中華そば金ちゃん BEYOND
勝田台 1-7-1 京成サンコーポ D 棟 105/TEL.047-489-1190
- 中華そば金ちゃん 本店
萱田町 592-3/TEL.047-481-1157
- 長寿食堂 かぐれ
八千代台北 6-8-9/TEL.0120-489-590
- 婚活生活 勝田台店
勝田台北 3-1-6 山崎ビル 3F/TEL.047-406-5029
- やちよ農業交流センター
島田 2076/TEL.047-406-4778
- スマートフォン修理 Eye Smart (アイスマート)
緑が丘 2-1-3 イオンモール八千代緑が丘店 4 階
TEL.047-481-8635
- 八千代絵手紙の森美術館
村上南 2-16-25/TEL.047-487-6265

- 成桜まなび塾
ゆりのき台 5 丁目 25-11/TEL.047-480-1074

習志野市

- ビストロ・ポトフ
津田沼 2-8-6/TEL.047-403-7205

船橋市

- 婚活生活 船橋本店
湊町 2-12-24 湊町日本橋ビル 6F/TEL.047-411-1444
- DILLY KELLY
宮本 2-9-1 第 2 ときわビル 1F B 号室 /TEL.047-460-7677
- 喫茶店ダイジング
宮本 2-9-1 第 2 ときわビル 1F B 号室 /TEL.047-460-7678

印西市

- みんなのヘアサロン
西の原 2-5-1/TEL.047-685-8366
- ペーカリー コルネット
西の原 2-5-22/TEL.047-629-4662
- anon
草深 2516-2
TEL.080-9964-3201 (リラクゼーション)
090-1812-9396 (エステ)

佐倉市

- 入母屋珈琲
上座 1238-1/TEL.043-308-4803
- レンタルダイニング Kitchen
佐倉市上座 1238-1/TEL.047-407-4362
- 手打ちそば はせ川
稲荷台 2-14-14/TEL.043-488-3655

Okamura LIFE はフリーペーパーです。

ご自由にお持ち帰りください。



やちよ絵手紙の森美術館

窓辺の白いカーテンが
柔らかな春の風に揺れている
陽射しはもう、充分に春を含み
そこいらじゅうの鉢植えは
いきいきと咲き誇り
明るい光のシャワーを浴びている
季節は光で感じるものだと言う
それを一番先に受け取るのは
草花たち、植物だという
もうそろそろ眠りから覚めよ、と
私たちに教えてくれるのは誰だろう
小さなことで迷い
小さなことで悩む
ちっぽけな人間の
私の目を覚ましてくれるのは
いったい誰だろう？
有りのままに生きるしかない
私は私らしく生きるしかない
窓辺のハンジーの花のように
それぞれの色、それぞれの生き方
つまり、自分らしくってことかな

『自分らしく』
文・絵 瀧下むつ子
書 瀧下白峰



今後の予定

3/15 (火) ～ 4/24 (日) 「春一色！カラフル色の絵手紙原画展」

春の暖かな陽射しを浴びて、一斉に花々達は芽を出しました。色とりどりの花が咲き乱れ、生きる息吹を感じさせてくれます。また、館内の作品群も春、春、春一色になります。

4/27 (水) ～ 6/5 (日) 「花と緑まじい絵手紙展」

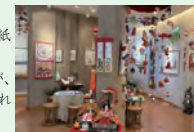
木々の緑は燃え立つように美しく輝いています。花も木々も全ての植物はいきいき春の空を見上げて両手を広げているようです。館内の作品群も、やっぱり緑豊かな風景が並び、元気なコイボリが泳いでいます。シンボルツリーの木の下でティータイムを。

2/1 (火) ～ 3/13 (日)

「吊し雛祭り、春を呼ぶ絵手紙原画展」が開催されました。色とりどりの華やかな吊し雛が、美術館に春の訪れを運んでくれました。

東日本大震災 災害見舞金

2022年1月に大船渡市(岩手県)災害見舞金として、2021年度に美術館に集まった見舞金¥50,164を送金させていただきました。震災から11年が経ち、復興計画事業も概ね完了したとの報告を受け、今年度を最後の見舞金としました。



書道教室

八千代市立郷土博物館／毎月第1・3 金曜日 10:00 ～ 12:00
八千代文化伝承館／毎月第2・4 木曜日 10:00 ～ 12:00
村上団地1-37 棟／毎月第2・4 土曜日 9:30 ～ 11:30

絵手紙教室

八千代市立郷土博物館／毎月第2 水曜日 10:00 ～ 12:00
緑が丘(旧京成バラ園カルチャー教室)／毎月第1 水曜日 10:00 ～ 12:00
フルルガーデン八千代 2F みんなのコミュニティ／毎月第1 木曜日 10:30 ～

絵手紙ギャラリー

Picture letter gallery.

- ◆定休日：毎週月曜日、最終月末は月・火休み ◆住所：八千代市村上南 2-16-25
- ◆電話：047-487-6265 ◆mail：info@yachiyo-etegemi.jp